

中津ロータリークラブ週報

2025~2026年度 第2720地区スローガン

みんなでつなぐ、育てる、ロータリーリレーションシップ

**UNITE
FOR
GOOD**

よいことの
ために
手を取りあおう

フランチェスコ・アレツォ 2025-2026 RI会長テーマ

第3414回 2025年8月27日 点鐘:18:30 瑞穂京

本日の出席者	会員数	43名	欠席者 (8名)	事前:井上会員(東龍IAC) 伊藤会員、三重野会員、永岡会員、里見会員、末永会員、高津会員、瀧会員、 上野会員
	出席対象者数	42名		
	出席数	34名		
	出席率	80.59%		
3411回の修正	出席率	73.81%	マーク	川島真之会員(東京ピースウイングEクラブ)、峯中会員、永岡会員(Eクラブ)、仲会員、 未永会員、井上会員、西郡会員(東龍IAC)、瀧会員(GNLSファシリテーション会議)
	メーカアップ	8名	アップ	
	修正率	88.10%	欠席者	中山会員、里見会員、和田会員、山口会員、山本洋一郎会員
来訪者				今週の歌 四つのテスト

●会長の時間 [原岡会長]

8月も残りわずかとなりましたが、まだまだ厳しい暑さが続いております。数年前までは、鶴市花傘鉾の行列が、ちょうどお昼前に、私の職場の前を通っており、それを楽しみにしておりました。ところが近年の暑さの影響で行路も短縮され、今年はとうとう市内でも見るタイミングが合わずじまいとなり、少し残念に感じております。それほどまでに暑さが厳しいということを、改めて実感しているところです。

今週末8月31日(日)には、イオン三光にてインタークアトクラブの皆さんと「24時間テレビの募金」に挑戦します。次代を担う若い世代が真剣に社会奉仕に取り組む姿を、ぜひ私たちロータリアンも応援し、可能な限りのご協力を、お願いできればと存じます。

今夜の懇親会は、互いの親睦を深める大切な場です。せっかくですので、どうぞ気軽にお話ししていただき、笑顔でつながりを深めていただければと思います。



●幹事報告 [池田幹事]

・回覧 9月例会出欠表、大分OliOliRC認証伝達式のご案内、2026台北国際大会早期登録のご案内

●委員会報告

・青少年奉仕委員会 [松本委員長]

東龍IAC2が24時間TVチャリティー募金を8/31イオン三光にて10:00~17:00に行います。



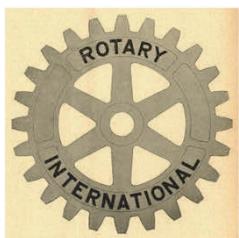
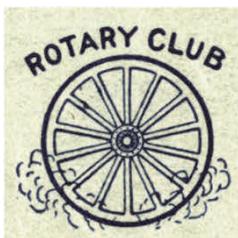
●ロータリー情報

R情報・公共イメージ委員会
川島真之委員長

ロータリーの徽章

【初期のクラブ徽章】1905年、シカゴ・ロータリークラブの創設期に、彫刻家モンタギュー M. ベアがクラブの象徴として馬車の車輪を描きました。13本の輻を持つそのデザインは、当初はクラブの理念を視覚的に表す試みでしたが、会員から「躍動感がなく、生命力に欠ける」との批判が寄せられました。ベアはその意見を受けて、車輪に雲を加え、空を走るような幻想的なイメージに変更しました。しかし、雲が「ほこり」に見える、あるいは車輪の両側から土煙が上がる描写が物理的に不自然だという指摘があり、最終的には雲の上に「ロータリークラブ」の文字を記したバナーを重ねることで、象徴性と視認性の両立を図りました。

【初期連合の徽章】1911年、事務総長チェスリー R. ペリーは、全米のロータリークラブが統一感を持つために、歯車を徽章の基本要素とすることを提案しました。各クラブは、翌年の1912年に米国ミネソタ州ダルースで開催される国際大会までに、徽章委員会にデザインを提出するよう求められました。ダルース大会では、「徽章は歯車の原則に基づき、外縁に歯を持ち、輻は力強さを示す。歯車はデザインの簡素さを和らげ、力の象徴となる」と定義されました。徽章には上部に「Rotary」、下部に



「International Association」と記され、各クラブはこのデザインを踏襲しつつ、都市名を表示することが推奨されました。ただし、幅や歯の数は明確に定められていました。1918年までの間、クラブごとに多様なデザインが使用される状況が続きました。

〔標準的な徽章の誕生〕徽章の統一を図るため、理事会はシカゴ・クラブのチャールズ・マッキントッシュとダルース・クラブのオスカー・ビヨルゲを規格化委員に任命しました。ビヨルゲは、実際の機械構造を模した6本の幅と24の輪歯を持つ力強いデザインを提案しました。この数はロータリーの理念や歴史を反映したものではなく、機能的な歯車の構造に基づいています。1919年11月、理事会はこのデザインとその詳細な説明を採用し、1921年の国際大会で正式に承認されました。『The Rotarian』1920年1月号に掲載された「Redesigning the Rotary Wheel (新たなロータリー歯車のデザイン)」は、この決定の背景を伝える重要な資料として長く参照されました。

1924年には、ロサンゼルス・クラブのウィル R. フォーカーが「車輪が静止している」との指摘を行い、車軸の力の伝達を表現するために楔穴を追加することを提案しました。フォーカーはロータリーを「生きた力」

と捉え、楔穴によって歯車に動きの象徴を加えたのです。この修正は理事会により承認され、1924年1月に正式な徽章として採用されました。ただし、仕様の文書化はすぐには行われず、1912年から1929年までの間に積み重ねられた決定の混乱を整理するため、1929年の国際大会で楔穴付きデザインが標準仕様として正式に確定されました。

〔誇りのシンボルとしての現在の徽章〕長年にわたり、歯車はロータリーのロゴとして使用されてきましたが、歯車内の“Rotary International”的文字が小さく、遠くからの識別が困難でした。こうした課題を解決するため、2013年には公式ロゴが拡張され、歯車の横に大きく“Rotary”的文字を加える新しいデザインが導入されました。これにより、視認性が向上し、ロータリーの存在感をより強く印象づけることが可能となりました。

今日、ロータリーの歯車は単なるロゴではなく、会員の誇りと理念を象徴する「誇りのシンボル」として位置づけられています。公式ロゴの一部として用いられるだけでなく、イベントや印刷物、デジタルメディアなどでも、単独で力強くあしらわれることが多く、ロータリーの精神と歴史を視覚的に伝える重要な役割を果たしています。



乾杯 安藤会員



締め 松下会員

●例会のご案内

- 9月10日(水) ゲスト卓話
地区会員増強拡大部門 部門長
奥村誠基会員(熊本西南RC)
- 9月17日(水) 特別休会
- 9月24日(水) 観月夜例会(18:30~八面山荘)



中津ロータリークラブ週報

国際ロータリー
第2720地区

事務局／〒871-0055 大分県中津市殿町1383-1 中津商工会館2F
TEL 0979-22-6908 FAX 0979-22-6909
E-mail nakatsu.r.c@feel.ocn.ne.jp URL <https://www.nakatsu-rc.com>

例 会／毎週水曜日 12:30~13:30 ヴィラルーチェ中津 TEL 0979-23-1122

●2025-2026年度

会長／原岡知徳 幹事／池田修治 R情報・公共イメージ委員長／川嶌眞之